

わがチラ裏ブログより転載

<https://www.ma-2.com/blog1/>

ふちんかん

この連載 60 回目

9月までにお高いバーガーを20個喰う話

基本自炊生活なのだが、月に3回ほど、チープな外食をしている。
ただし飲み会は別(^_^;)

これまではクーポン利用500円でトンカツ定食が食える「松のや」がエンドレスリピートモードだったのだが、この4月からクーポン割引が若干しょぼくなってしまった。

この春メルカリがメルカード登録で半額クーポン(上限5000円) 配布のキャンペーン。

早速カードを申し込み、そして即購入したのが
「マクドナルド株主優待券バーガー部分のみ20枚10800円」である。

この券はマクドのセットメニューに該当するハンバーガーがどれでも引き替えできるものである。

夜マックの倍バーガーも100円増なしで利用できるし、トマト3枚までやピクルス、オニオン、ソース増量も無料である。

半額クーポン利用なので
5800円。20食分なので1食あたり290円。

ただし利用期限があり、
9月末まで。まあ毎週1枚ずつ利用すれば消費できるはず。



サムライマック ダブル肉厚ビーフ



倍ビッグマック



購入したバーガー券

iPadをPCモニターに

PCモニタは3枚マルチモニタとしている。

32インチモニタを筆頭に、27インチ、24インチペンタプレットの3枚である。

3月の模様替えの際、メインモニタとして正面に鎮座していた24インチペンタプレットを左側面へ移動した。

このモニタはディスプレイとしては大きく良いのだが、そのぶんモニタまでの距離が必要で、そうするとペンが使いにくいというジレンマがあったためだ。

わがチラ裏ブログより転載

その結果、2枚のモニタが正面に並ぶことになるのだが、これまでの3枚モニタから1枚減ったわけで、どうも手狭に感じる。



そして4月の転勤で、職場から帰ってきた12.9インチのiPadPROが無聊をかこつている。このiPadPROを第4のモニタとして利用することにした。

iPadのPCモニタ化のため使用するアプリは「SpaceDesk」である。wi-fiを利用することでケーブルレスで利用できる。ちなみにこのアプリは無料である。

おそらくゲームのような利用には向かないのだろうが、私はアイコン置き場としての利用なので無問題である。



置いてみると位置が低く、多少使いにくかったので、タブレットを置いているスマホスタンドに穴を開けて下からlightningケーブルを挿せるさせるようにした。そして、スタンドごと缶ケースの上に置くことで高さを確保した。





バスの旅11_鳴尾浜へ

連休前半の日曜日、夏日となる好天であった。今年始めて半袖ポロシャツで出かける。今回の目的地は、鳴尾浜臨海公園前。

しかし、鳴尾浜へ向かう阪神バスの始発である阪神甲子園へ、スタートの川西能勢口駅から直接向かう手段がない。

定番の阪神尼崎まで行き、そこから国道を西へ向かうというルートも、阪神甲子園とは少し離れている。

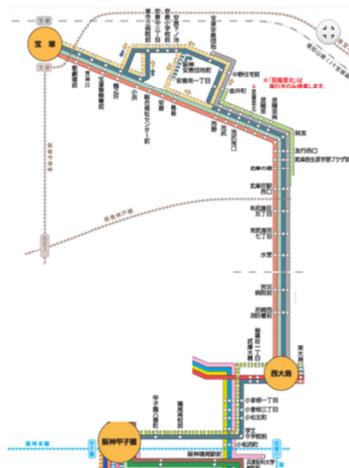
そこで阪急電鉄で宝塚駅まで行って、そこから阪神バスで阪神甲子園へ向かうルートを取った。

第1便 宝塚発10:05発、市立病院・安倉団地経由、阪神甲子園行き 阪神甲子園まで

この路線は阪神としてはテリトリー外なのだが、阪神と阪急がライバル関係だった戦前、阪神が宝塚へ向けて宝塚尼崎電気鉄道を計画した名残である日く付き路線である。宝塚～伊丹部分の鉄道敷設準備が進んだ中で、尼崎市から尼崎駅付近の高架化を求められたため鉄道敷設を断念、バス路線として整備したということだ（当初は有料の自動車専用道路だったらしい）。

約1時間の乗車であった。

阪神甲子園でお高いバーガーの食事。



宝塚駅 初夏の陽光



阪神甲子園駅



お高いバーガー

第2便 阪神甲子園11:28発、甲子園八番町経由、鳴尾浜行き 鳴尾浜臨海公園前まで

バスははじめに甲子園球場、そしてららぽーとなどの大型商業施設、西宮東高校（兵庫第2学区随一の進学校）などを車窓に見せつつ、南に進路を変え、臨海の埋め立て地へと進む。

昨年、国道を走る阪神バスに乗って、運転の荒さに驚いたが、そのあと、何度か乗車したバスはそうでない場合も多く、偏見かな、と思い直していた。しかし今回乗ったバ

スは、恐ろしくワイルドな運転であった。

電鉄のジェットカーよろしく急加速・急減速、少しでも低速車がいると右側レーンに飛び出し、バス停直前で左に復帰、あげくは反対車線右折車が横断歩道前で停止して進路を塞ぐと、容赦ないクラクション攻撃をかけつつ右側レーンにふくらみ回避など。運転手の個性だけでなく、タイトなダイヤが設定されているのが原因かもしれない。

ワイルドな運転を楽しみつつ約20分の乗車で、目的地の鳴尾浜臨海公園前到着。バス停付近には、陸側にミキプールの工場があり、海側が目的の公園である。

この公園内にはリゾ鳴尾浜という複合スパリゾート施設があったのだが、2020年に休業。今は芝生広場、海釣り広場、フラワーガーデンのみとなっている。

エントランスを入ると、まずはフラワーガーデン。小さいながらも廻遊水路と起伏を利用した庭園となっており、ベンチや東屋があり、落ち着いた雰囲気である。

バラをはじめ多くの花が咲いていた。クマバチがあちこちでホバリングしているのもこの季節らしい。

その先には前述のリゾ鳴尾浜跡地がある。入り口から中を覗いてみると、屋内に植えられていた樹木が落とした枯れ葉が積もっており、かわいそうなことになっている。



リゾ鳴尾浜 入り口



内部の様子

リゾ鳴尾浜の西側には芝生広場がある。広場の周縁部に家族連れのテントが並ぶ。

ここまで来ると海が見え、南側のフェンスの先は海釣り広場（見学100円）となっている。

以前訪れた西宮浜が西の方に霞んで見える。



続きは
[ブログ](#) にて

